

## 大岡 令和7年 県下一斉 夏季 少年補導



駅前町



大岡団地



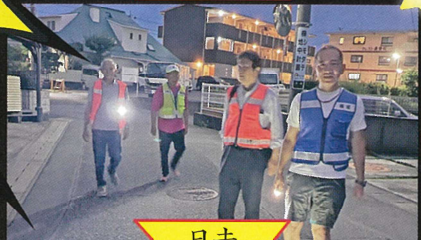
駅前町



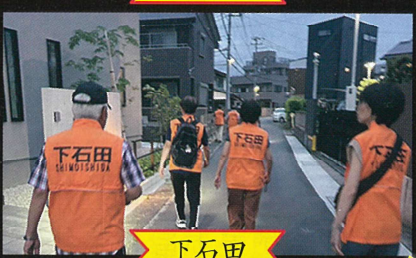
大岡団地



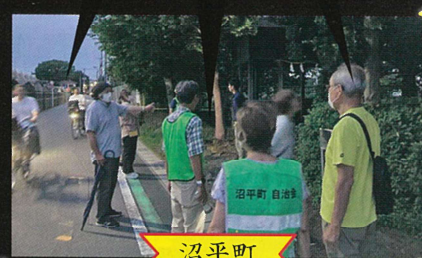
日吉



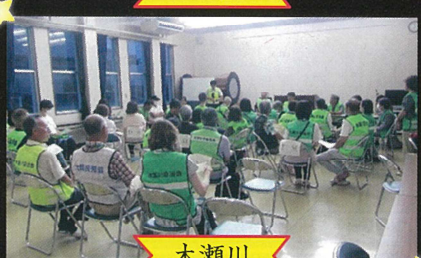
日吉



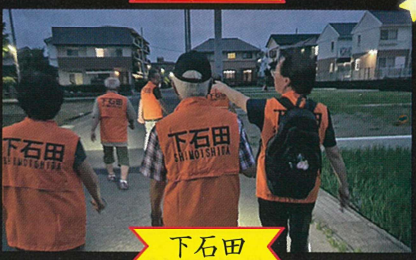
下石田



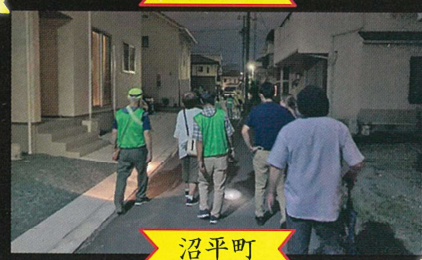
沼平町



木瀬川



下石田



沼平町



木瀬川

**【補導部 高橋直洋 中石田】**  
 毎年、恒例の「夏季の県下一斉補導」が7月4日に開催されました。中石田と富士町との実施で21名の参加者がありました。近年は子供たちに声をかけることが目的ではなく、反射ベストを着用し目立たせて見せる補導活動としていきます。今回の活動では、あまり子供たちには遭遇することがなかったのですが、地域防犯を見せられたのではないのでしょうか。中石田富士町では通常の補導活動においても、自治会長、副会長に参加していただき、防犯灯の位置、危険箇所も同時に確認して早めの問題解消しています。

**【補導部長 今井達也 富士町】**  
 県下一斉少年補導は総勢188名の方に参加をして頂きました。各地区の補導員をはじめ、学校職員、役員の方々、その他参加して頂いた方には大変感謝致します。青少年の被害・非行の問題の報告はなく無事に終わる事ができました。直近多くある報告は、自転車の無灯火です。2026年4月から違反対象になるとの事ですので、補導と合わせて注意喚起していけたらと思います。今後も青少年を見守る立場で、少年たちへの思いやりの精神を持って「愛の声かけ」を行い、補導巡回の姿を見せる事により、青少年に安心感を与え、抑止力の一翼として被害、非行の未然防止に努めてまいります。今後ともご協力よろしくお願致します。

## 大岡地区 連合自治会 社会福祉委員会

令和7年6月28日(土)10時より大岡地区センター会議室にて開催した。出席者は社会福祉委員会委員長、連合副会長、コミ正副常任委員長、各自治会長、福祉部、市社協大岡地区担当SC、きせがわ地域包括支援センター、民児協役員、大岡地区社協参加者38名。

初めに、社会福祉委員会委員長の上田連合自治会長より、今回の社会福祉委員会の趣旨の説明があった。

【大岡地区社協より】①大岡地区自治会別高齢化状況(令和6年3月65歳以上)の説明があり、沼津市全体では高齢化率32.7%で、大岡圏域26.8%の中でも富岳町が58.3%、大岡団地が51.3%など大岡全体で高齢化が進んでいる。県民の高齢化率30.9%で10人に3人が高齢者。沼津市は32.7%。さらに20年後、高齢者の独居世帯は全体の2割を占めるといわれている。②高齢者居場所づくり(いきいきサロン)は、地域住民が気軽に集まり、交流を深めるための活動である。閉じこもりや孤立を防ぎ、健康増進や仲間づくりを支援している。令和6年度13自治会で延べ7,499人が参加しており、大岡は広域な連合組織で地区センター集約での居場所づくりには限界がある。各自治会で開催されている居場所づくりに参加しよう！③緊急情報キットとは、緊急時に必要な医療情報や緊急連絡先などを専門容器に入れて冷蔵庫に保管す

ることで、緊急隊が迅速な緊急活動を行えるようにするためのものである。目的としては緊急時にかかりつけ医、服用薬、持病、緊急連絡先などの情報を緊急隊員が迅速に把握できるようにし、適切な緊急医療活動に役立てる。緊急医療情報キットは明治学院大学の岡本多喜子教授が米国オレゴン州のポートランド市で実施されていた「緊急医療情報キット」のキットシステムを参考に、港区と東京消防庁に本システムを提案、平成20年5月より港区役所で実施された。個人の病歴、緊急連絡先をA4の記載用紙に記入しキットに保管する。キットの保管場所を冷蔵庫と定め、冷蔵庫ドアには、保管を示すマグネットシール、玄関内側ドアへのシール表示を全国统一システムと定めた。大岡地区では平成25年〜令和6年までに、キット1526個、用紙746枚を無料で配布している。

【きせがわ地域包括支援センターより】令和6年度の相談件数は360件①認知症18%②関節痛③転倒④衰弱⑤癌⑥脳血管⑦その他は自治会別認知症相談件数67件。木瀬川・日吉・下石田・大岡駅前町・中石田・大田町・他【フレイル予防の重要性について】フレイル予防は、健康寿命を延伸するために非常に重要である。フレイルは加齢に伴う心身の機能低下や、社会とのつながりの希薄化によって、要介護状態になるリスクが高まった状態を指す。早期にフレイルを発見し、適切な対策を講じることで、健康な状態に戻ったり、要介護状態への進行を遅らせたりするこ

とが可能。健康寿命の延伸・要介護状態の予防・生活の質の向上・医療費の抑制などがあげられる。

※誰もが、住み慣れた自宅でも可能な限り長く、自立した生活をおくりたいと望んでいると思います。介護保険などの公的サービスは、生活の一部の支えに過ぎません。施設など様々な選択肢があると思いますが、在宅生活を長く継続していくには介護する方を地域で見守り、支えていくことが重要です。介護が必要になっても長く暮らせる地域を共に作っていきましょう。



### 緊急情報キットの活用方法

①緊急情報キットの内容を確認  
②119番通報  
③連絡・搬送  
④救急隊到着、救急活動

## 第2回 防災講習会(HUG)

【日時】7月6日(土)9時30分〜11時40分  
【会場】大岡地区センター2階(参加者62名)連合自治会、コミ推進委員会役員、コミ専門部長、自治会長、各自治会防災担当者、コミ消防防炎部員、コミ女性部、大岡地区社会福祉協議会  
始めに連合自治会長から防災の話がありました。【大岡地区では津波は狩野川・黄瀬川合流点まで来ると思われますが、地震の方が被害は甚大だと思われま。】自分の命は自分で守る。この防災講習会で日頃の備えについて、もう一度考える機会になればと思います。次に市川副会長より、避難所運営訓練・避難所開設スタートキットの説明と今後の課題の話がありました。【各自治会でも自主防災組織があると思いますが、木瀬川自治会の例、自主防災組織図には、本部、防災部の正・副、情報班、防災・消火班、救出班、避難誘導班、給食給水班、救護班、福祉班、連絡網、約90名の組織図がありますが、コロナ禍以降は機能していないのが現実です。一次避難所の場合、今後どのように活動するかが課題です。】

そして森岡副常任委員長より避難所HUGの説明。【HUGは、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプリとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢・性別・国籍それぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所できこる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。】





▲作業前の危険予知トレーニング



令和7年6月1日(日)、日吉自治会恒例の浪人川清掃が65名の住人の参加で行われました。今年も作業開始前に【危険予知トレーニング】を行い、作業の危険箇所を確認しました。本日はケガもなく無事に清掃が行われ、大変、綺麗になりました。

### 日吉自治会 浪人川清掃

6月7日16時頃、狩野川・黄瀬川合流点で中学生か？泳いでいる方が見られました。この合流点付近で河原・川に入って遊ぶ小学生など、子どもたちの姿が最近多く目立ちます。**危険ですから、絶対に川に入らずに遊んではいけません!!**この場所では、過去に悲しい事故が発生しています。十分注意しましょう。そして**黄瀬川公園は、急な河川の増水に注意しましょう!**ここでは晴れていても、上流の地域での雨で急に水かさが増えることがあります。水かさが増えてきた時、カミナリが鳴った時、雨雲が見えた時は、**直ちに川(公園)から離れましょう!**

## 危険

川に入って遊ばないで!!  
〜狩野川・黄瀬川の合流点〜



▲木瀬川自治会



▲下石田自治会

夏の交通安全運動は、7月11日から7月20日までの10日間実施されます。この期間は、夏のレジャーシーズンで、交通量が増加し、暑さや疲労による集中力低下、飲酒の機会増加など、交通事故の危険性が高まる時期です。また、子供たちが夏休みに入り交通事故の危険性が高まる時期でもありますので、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけ、交通事故防止の徹底を図ることが目的です。**※横断歩道は歩行者優先※横断歩道手前で減速!※歩行者がいたら一時停止!道路を渡る時は「止まる・見る・待つ」道路を横断する際は、手を上げてドライバーに意思表示を。①止まる…道路を渡る前には、必ず止まる②見る…横断前は安全確認。③待つ…近づいてくる車がいいたら通り過ぎるまで待つ。④安全運転意識の向上…速度を落とし、シートベルトを着用するなど、安全運転を心がけましょう。●飲酒運転の根絶…飲酒運転は絶対にやめましょう。●歩行者の安全確保…子供や高齢者をはじめとする歩行者の安全を確保しましょう。●自転車を利用する時はヘルメットを着用しましょう。自転車乗車中に交通事故に遭った場合、ヘルメットを着用していないと、着用していた場合と比べて致死率が約2倍になります。(木瀬川自治会は交通部・自治会役員で7月14日(月)7時15分より交通安全運動を実施)**

## 2025 夏の交通安全県民運動

短歌コーナー (作者 やなはる(令))  
☆(へらぼう)の テレビの前に 陣取れば  
我は東の間 江戸人となる  
☆古雑誌の タレントの記事に 見つけたり  
「時短」のスウィーツ 作ると立ち上ぐ

井出泰彦さん(中石田)が沼津市防災指導員10年を務め、令和7年度沼津市表彰の【防災功労】を受賞されました。ご受賞のお祝いを申し上げます。

大岡地区 ソフトバレーボール大会  
6月28日(土)、大岡コミュニティ主催、コミ体育部主管の下、大岡地区ソフトバレーボール大会が大岡小にて開催されました。14チームが参加し、2グループに分かれ熱戦を繰り広げました。どのチームも練習の成果を発揮し、大会を通してチームの絆も深まり、また他チームとの交流をすることができました。Aグループの優勝は【大南D】、Bグループは【WE EDS】でした。おめでとうございませう!  
ソフトバレーボール大会の参加された皆様、お疲れさまでした!



【大岡南小・村松監督のコメント】  
父親ソフトボール大会は選手の年齢構成が重要となる大会です。若手といわれる35歳から40歳前半世代が他地区より充実し、ベテラン世代の頑張りもあり、ここでの優位に試合を運ぶことができなりました。県大会では過去2年できていない初戦突破を大目標に頑張りたいたいと思います。

父親ソフトボール大会  
7月6日(日)今沢小グラウンド、7月13日(日)大岡公園内運動場にて、父親ソフトボール大会が行われました。  
大岡地区からは「大岡小」「大岡南小」が参加し熱戦が繰り広げられました。  
両チームとも初日を勝ち上がり準決勝で激突。結果は「大岡南小」が18対2で勝利し見事決勝に進出。決勝では「第五小」に3対6と惜敗しましたが、準優勝となり、11月の静岡県大会への出場を決めました。  
【大岡小・秋元監督のコメント】  
強い日差しが照りつける中、「無理せず、怪我なく、脱水症には気をつけよう」をスローガンに参戦しました。準決勝で負けてしまいましたが、チームの雰囲気も良く、幅広い世代間でコミュニケーションを取り合い楽しみながら参加できました。来年に向けて部員も募集中です。

寿サロン

大岡小学校との交流会

6月11日(水)大岡小学校にて、寿サロンの会員と、大岡小学校2年生との交流会が行われました。

昔遊びを名人から教えてもらうという事で、用意されたのは「だるま落とし」、「けん玉」、「かるた・百人一首」、「あやとり・お手玉」、「コマ回し」、「竹とんぼ」です。

遊びの時間は30分程度でしたが、その短時間で子どもたちは寿サロンの名人も驚くほど上達しました。最後に、子ども達がハイタッチでさよならのあいさつをしてくれました。



夏のお肌対策しましょう

7月9日(水)寿サロンの会員19名が参加し、松下かよ子さんによる夏のお肌対策スキンケアの講座が行われました。

絶対にやって欲しくないお手入れの方法と、やって欲しいお手入れ方法を教えてもらった後に、寿サロンの会員さんひとりにモデルになってもらい実際にお手入れをしてもらいました。

まずお肌の汚れを綺麗に落とし、保湿ケアをした後にメイクをしてもらうと、女優さんのように変身！見ていたみなさんからもキレイとの声をかけてもらい、本人もとても嬉しそうなお様子でした。

松下さんからは「もともと肌が綺麗だったので、ちょっとお手入れしただけです。これからもきちんとお手入れしてくださいね。」とアドバイスをもらいました。



大岡小学校4年生  
福祉出前講座

6月16日(月)に行われた小学生向けの福祉体験は、子どもたちが障がいや高齢者に伴う心身の変化を理解し、思いやりの心を育てることを目的としています。体験を通して地域で暮らす人々の生活課題に目を向けて行動するきっかけを作ることを目指します。車いす体験では、障害のある方の生活を理解し、介助の必要性や思いやりを学びました。

ポッチャ体験では、障害スポーツとしてポッチャの普及を目指し、各地で実施されています。その面白さを知る良い機会となっています。

白杖体験では、視覚に障害のある人の日常生活を理解し、共生社会を築く上で重要な体験です。白杖の役割や使い方を学び、視覚障害のある人への適切な関わり方を学びました。



中石田 フレイルチェック

7月8日(火)中石田公民館にて、きせがわ地域包括支援センター主催による第6回目となる中石田のフレイルチェック会が開催され、16名が参加しました。半年に一度チェックすることで自分の体調管理ができ、日々少しの気にかけてフレイルになることを防ぐことが出来ます。今年度大岡地区では各地区でフレイルチェックができるように計画を進めています。6回目になると皆さん慣れた様子で、測定もスムーズに進行了しました。近所の方と楽しく会話をしながら時間を過ごす事も、オーラルフレイルの予防につながります。継続する事で健康への意識の変化があればと願います。



## 大岡団地 フレイル

7月17日に大岡団地公会堂にて、きせがわ地域包括支援センター主催によるフレイル予防講座が開催されました。テーマはオーラルフレイルと、社会参加についてです。

きせがわ病院の言語聴覚士鈴木氏は、食生活と実際に家でもできるお口の体操など予防策を実施しながら、フレイル予防の重要性を伝えてもらいました。

作業療法士笹原氏は、社会参加への重要性、健康寿命についてと、閉じこもりのリスク、他者交流の重要性などを説明し、最後に次回フレイルチェック会の案内を行い終了しました。



川柳コーナー  
(匿名希望)

☆負け犬と 負けたふりして

牙をむく

☆タチアオイ 嵐の最中 凜とする

## 沼平町 認知症カフェ

6月12日(木)沼平町自治会館にて認知症カフェを開催しました。地域住民14名が参加し、椅子で行える体操や脳トレとして、昔なつかしいクイズを行い盛り上がりまりました。

講座のあとで様々な質問があり、認知症に対する関心の高さが伺えました。



## いきいきサロン

### 下石田

6月29日(日)下石田公会堂にて、いきいきふれあいサロンが行われ、29名が参加しました。

講師に市川庸子さんをお招きし、「リズムに合わせて健康体操講座」を行いました。音楽に合わせて皆さんで身体を動かし、ストレッチでクールダウンして整えました。ビンゴ大会も行われて、楽しい時間を過ごすことができました。



## 木瀬川

6月のきせつ家は、ものづくり第5回目としてナチュラルなアイテムが作れることで人気のクラフトバンド手芸を行いました。クラフトバンドは紙バンドと呼ばれることもあり、軽くて使いやすいことから今回は手軽にできる小物入れに挑戦しました。

医学的にみても、脳活性化という視点から紙バンド手芸で手や指を動かすことで脳が活性化され、脳トレやリハビリ・介護予防にも効果が期待されるそうです。また、物づくりをすることでお互いに助け合い作品を作ることによって、連帯感がうまれ楽しくおしゃべりしながら作品を作っていました。



### 大岡中1年 夢合宿

5月15日～16日の1泊2日で入学して初めての宿泊研修「夢合宿」に行ってきました。

8時半に大岡中を出発し、約10kmをウォークラリーしながら徒歩で桃沢野外活動センターに向かいました。大岡小、南小からの新しい仲間と交流し集団生活を学ぶことを目的とし、夜にはこの夢合宿の最大のイベント「夢講座」が開催され、今年もこの春卒業した卒業生が来て大岡中での生活を語ってくれました。「一生懸命がかっこいい」大中魂をしっかり伝授し、また1年生もしっかり受け継いだようで1年生にとっても有意義な2日間となり、今後の大岡中ではもちろん大岡地区での活躍が期待できそうです。



### 大岡中2年 高原教室

令和7年5月22～23日の2日間、大岡中の2年生は高原教室で山梨県にある紅葉台キャンプ場に行ってきました。樹海ガイドツアーや、夕飯でバーベキューをしたり、キャンプファイヤーでは当日お題が発表され自分たちで作り上げたスタンプを発表しました。2日目は癒しの里で自分だけのオリジナル作品を作る体験学習を行いました。

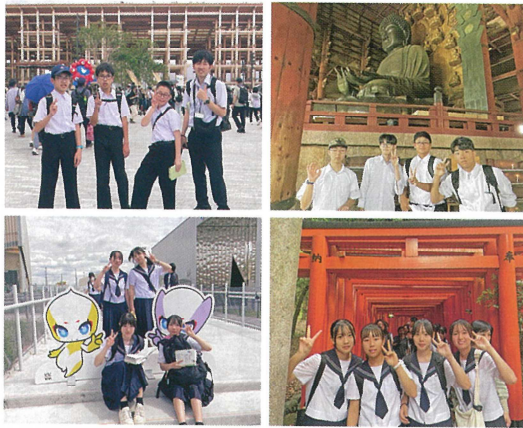


### 大岡中3年 修学旅行

5月22日～24日の3日間、修学旅行に行ってきました。「楽学両道」友となら、今日という日を忘れない」のスローガンのもと、京都奈良、

そして大阪万博へ行ってきました。今年の3年生だからこそその万博、さすがに混んでいましたが、普段体験できない技術や文化に触れることができました。2日目はクラス別研修、3日目は各自で調べ計画した班別研修を行いました。それぞれタクシーに乗り、地元の運転手さんならでのオススメやお得スポットを案内してもらい、車内では子供たちを楽しませる会話が盛り上がり、あっという間に帰る時間に。

この修学旅行に向けて準備してきたこと、体験を通してできた仲間との絆や成長がこの先の生活に生きていくことを期待しています。



### 大岡小・大岡南小 5年 自然教室

大岡小は6月11日～12日、南小は6月19日～20日に5年生が桃沢野外活動センターで自然教室を行いました。

た。岡っ子は生憎の天気のため1日目は大岡小体育館にて子どもたちが考えたレクリエーションで楽しい時間を過ごしました。みなみっ子は自然の中ウォークラリーを楽しみました。飯盒炊きさんでは、みんなで協力しておいしいカレーが出来上がりました。またクラフト活動も行い、夜のキャンプファイヤーでは盛り上がりは最高潮。あつという間の1泊2日で、仲間との絆も深まり有意義な時間を過ごすことができました。



日吉子ども会  
水風船1万発合戦

令和7年7月19日(土)大岡南小学校で毎年恒例の水風船1万発合戦を行いました。当日は110名の親子が参加しました。前半は1升瓶にひしゃくで水を早く入れあう1升1瓶競争を行ない、後半戦は水風船を1万発使って当て合い合戦を行いました。親子皆で楽しみながら、猛暑の続くひと夏の涼を取る事が出来ました。



大岡小PTA  
水遊びイベント

7月19日(土)、大岡小グラウンドにて大岡小PTA主催の水遊びイベントが開催され、約120人が参加しました。

大きなプールや金魚すくいのポイを的にした射撃が用意され、持参した水鉄砲で水を掛け合いながら運動場を駆け回る元気な姿が見られました。また恒例のカップが登場すると子どもたちは大はしゃぎ。カップが持っているのをめがけて子どもたちとカップの水合戦が始まると、笑顔いっぱい河童たちを追いかけたい

ました。子どもも大人もびしょ濡れになりながら水遊びを楽しみました。今年の夏の楽しい思い出が一つ増えました。



大岡南小3年  
スーパー見学

6月23日(月)、3年生のスーパー見学が、マックスバリュ沼津力タクラパーク店にて行われました。

普段入ることのできないお店のバックヤードを見せていただき、今が旬のスイカを販売用にカットするための大きな包丁を見せてもらったり、加工前のお魚を見せていただきました。魚を捌くにはベテランの技術がいることなど、子供たちも真剣にメモを取りながらお話を聞いていました。

またお家の方から頼まれた商品を実際一人で購入してみたりと、なじ

みのあるスーパーでも新たな発見や気づきがあり、とても勉強になりました。



DAINAN  
わくわくセミナー

6月14日(土)大岡南小学校PTA主催DAINANわくわくセミナー「おさんぽ星さんによるプラネタリウム」が開催されました。

箱根にある「出張プラネタリウム屋さん」が、体育館に空気でふくらませるエアドームでプラネタリウムを設置していただき鑑賞しました。エアドームには行列ができ、空気が抜けないよう急いで入退出しました。出張プラネタリウム屋さんの山口様より大岡南小学校から見える(はずの)星空の解説をしていただき、大変良い勉強の機会となりました。

日吉子ども会  
食育チャレンジ企画

令和7年7月12日(土)大岡南小体育館で静岡県子ども会連絡協議会の補助を受け、食育企画として、野菜・果物の重さチャレンジ企画を行いました。一日に必要な野菜550gになるよう野菜をバケツに入れ重さを測る企画。沢山の野菜を用意し野菜のカロリーや栄養素を学び、参加全員にきゅうりの浅漬け体験も行いました。ぴったり賞も2人であり、大変盛り上がりました。



## 大岡中 中体連

中体連、部活の生徒にとっては最大の大会であり、3年生にとっては引退のかかった大切な思い出のある大会です。1年前新チームでスタートし、1年かけて作り上げたチームでの最後の試合となります。生徒たちはこの試合に向けてたくさん練習をしてきました。部活動も試行錯誤変化の時期で様々な規制がありました。部員の減少や練習時間の制限、他校との合同チームだったり地域移行など、限られた条件の中での活動ではありましたが、できることをやってきた、と選手らは満足した顔で引退を迎えました。また試合には出ない入ったばかりの1年生も試合中いっぱい応援したり千羽鶴作ったりして上級生を支えてくれました。今後も部活動運営は変わっていきますが、頑張る中学生が悔いなく活動できるよう、学校保護者はもちろん、地域の方々の協力もさらに必要となるので「一生懸命がかっこいい」大岡中の応援よろしくお願いします。



令和7年7月27日(日)日吉子ども会では毎年恒例の沼津夏祭りの清掃ボランティアに9名が参加をしました。当日は朝5時45分に沼津中央公園に集合し、前日行われた沼津夏祭りの清掃を行いました。全員でゴミ袋を持ち町中の清掃を行い、途中沼津朝日新聞さんの取材も受けました。



## 日吉子ども会 沼津夏祭り清掃ボランティア



7月18日(金)、3時校目に大岡小1年生と第二耕雲寺幼稚園の年長さんとの交流会がありました。年長さんは緊張した様子でしたが、1年生のお兄さんお姉さんと一緒に、王冠に折り紙の飾りを付けて楽しみました。1年生が年長さんに優しく声をかけ、手伝いながらはさみやテープなどを使って仲良く王冠を完成させました。一生懸命作った王冠はどれも素敵で、みんなが被って楽しい時間を過ごすことができました。

## 幼小交流会

例年に比べゴミの量も少なく、マナー向上がうかがえました。朝早くから参加した小中学生ありがとうございました。



俳句コーナー  
☆照らされる 幻想的な 夜ノ桜  
(作者 ファビ 16歳)  
☆夏草に 生きてく術を 教わる日  
(匿名希望)

## お詫びと訂正

「コミュニティ大岡158号」に記載文章の誤りがありました。関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げますとともに次のとおり、訂正させていただきます。

### 【新任自治会長紹介】

造り道自治会長 原田志美  
「造り道自治会長を務めることになりました。より良い地域となるよう、少しでも貢献出来ればと思います。よろしくをお願いします」



連合自治会

発行／大岡コミュニティ推進委員会 編集／広報部

発行責任者／上田素行

問合せ／大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299

発行部数／8,300部

大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>